

ひと うちら

長くテレビドラマの生放送のドラマに出演
演出を手掛けてきたせんぼんよしこさんが初
めて映画を撮った。十て、大のあこがれだっ
て、一月末の公開時には七十八歳という遅いデ
ビューだ。

78歳で映画監督デビュー

初監督作「赤い鯨と白い蛇」は館山が舞台。香川京子さんが演じる七十代半ばの主人公を中心にした、世代の異なる女性五人の物語だ。今年のモントリオール世界映画祭の新人監督部門にも出品された。

日本テレビに一期生として入社。駆け出しのころは「映画は高いところに居て、テレビは『電気紙芝居』とコケにされていた」という。



「気持ちよく撮影できまして。もと東京現場がよければ、出まがす」東都千代田区の岩波ホール

テレビ時代からの夢叶う

撮影した。「テレビでは夕日に浮かぶ潜水艦のことを指す。主人公の記憶をたどり、戦

がテレビにも回ってまう。そういう、テレビの登場人物も過去と出会うことになる。せんぼんよしこは小学校から女学校までを館山で過ごした。旧海軍の航空隊基地があったが、海に面した崖壁に軍事施設があったことは当時、全く知らなかった。

「あのころは海へ行ってはいけなかった。調べてみて初めて、どうして行ってはいけなかったのかが分かった。戦争中は発表がなければ、何も分からないうものでした」

「赤い鯨と白い蛇」は11月25日から東京・岩波ホールで公開。札幌、仙台、名古屋、京都、大阪、福岡などでも順次公開される予定。上映に関する問い合わせは東北新社クリエイツ、電話03(5)414-0334。

演出家、映画監督のせんぼんよしこさん

せんぼん・よしこ 1928年旧満州(現中国東北部)大連生まれ。演出ドラマに、日本テレビ系列「愛の劇場」シリーズなど。